

# 会 報

次代を築くヒューマンネットワーク

◀第379号▶

一般社団法人兵庫県建築会



発行日：平成29年 5月 1日

目次	◎ 会員レポート 『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』（第11回）	
	神鋼不動産（株）常任顧問 川端 宏幸氏	・・・ 1～3頁
	◎ 見学レポート 『神戸開港150年記念イベントの紹介』	・・・ 4～5頁
	神戸市みなと総局開港150年担当課長 加納 尚剛氏	
	◎ 見学レポート 『兵庫県庁と兵庫津界限』（その1） 事務局	・・・ 6～7頁
	◎ 見学レポート 『ひょうご出会いサポートセンター』 事務局	・・・ 7～8頁
	◎ お知らせ	・・・ 8～9頁
	◎ 広報コーナー 『ひょうご出会いサポートセンターをご活用ください！』	10頁
	『神戸開港150年記念イベント情報』	・・・ 11～12頁

## 会員寄稿

『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』（第11回：最終回）  
神鋼不動産（株）常任顧問 川端 宏幸氏

この連載も、最終回となりました。  
前回に引き続いて、リールをお届けします。

## リール(フランス、17万人)

昼食会の後、ノール県のラバソン総局長等と質疑応答した。



▲ 左からのギヨ都市計画局長、筆者、ラバソン

Q.筆者：総局長、国では、既成市街地から新市街地

に人口(若者)が流出するとともに郊外に大型店舗が立地し、商業も衰退化しているが、リールではどうか。

A.ラバソン：35年ほど前は、リールでも同じような状況であったが、既成市街地を再整備し、人口が戻りつつある。店舗は、高級ブティックや若者向けインハウス型店舗など選別、差別化し、棲み分けを行っている。

Q.筆者：わが国では、新市街地でも開発当初に一斉に入居した世帯が高齢化し、オールドタウン化しているが。

A.ラバソン：リールでも同じ状況であり、対策が必要である。

Q.筆者：歴史的な建築物の修復に助成しているか。

A.ラバソン：指定した建築物については、国が半分、残りを州、県、市で補助するようにしている。実質的に教会、特に大聖堂などは公費で修復するようにしている。

Q.筆者：一般住宅はどうか。デザインコードはあるか。

A.ラバソン：特にない。地域固有のデザインコードに合わせて、修復するよう指導し、検査も行っている。

Q.筆者：行政が直接、事業を執行する地区はあるか。

A.ラバソン：非常に居住環境が悪い地区について

は、行政が土地、建物を買取り、広場(中庭)などのオープンスペースを確保しながら社会住宅の建設を行っている。社会住宅の割合は約 20% で、低所得者や大家族で居住環境の悪い人たちに供給している。市の職員も入っており、少し問題である。



▲ 密集市街地をクリアランスした緑地

ギョ：日本では都市計画に国が関与しているのか。

A. 筆者：実質的には身近な行政である市町が行い、阪神間などの広域的な都市計画は県が行っている。国は法制度により都市計画の方向のコントロールを行っており、東京など中央の実態に即した都市計画制度の見直しを行っており、地方の実情を必ずしも反映しているとはいえない。



▲ 中庭(緑地)に面した社会住宅

### 《おわりに》

今回、訪問した諸都市は、それぞれ社会的、歴史的な背景も異なり、景観保全の面においても多少の課題を抱えているが、全体として次の共通した取組みがうかがえる。

- ① 歴史的に積み重ねられた街並みや建造物を尊重するという共通理解が住民、行政にあり、道路、公園や建造物の更新に際しても、既存のストックを最大限活用した修復を行っている。
- ② 建造物を建て替える場合にも、ファサードを残すことを基本とするが、まったく新しいデザインとする場合には、歴史的な建造物との対比によりそれぞれの良さを引き出すなどの多様性も併せ持つ。

- ③ 中心市街地の活性化については、既成市街地の建造物を店舗に改装し、ブティックやインハウス型店舗にするなど、郊外の大規模店舗とは選別、差別化した店舗立地を促進している。
- ④ 中心市街地の居住地の再生については、既成市街地において富裕層向けの住宅を確保するとともに、高齢者向けの賃貸住宅の確保や密集住宅地区のクリアランスにより一定の社会住宅の建設を行っている。
- ⑤ 建造物の修復についての助成措置については、ドイツの B プランに沿った建造物や指定を受けた建造物については国、県、市等から補助が出るが、一般の建造物には補助はなく、地域に存する街並みの脈絡の中から、個別に建替えや修復を行っている。また、重要な建造物については、コンツェルンの補助により修復し、再利用している場合もある。
- ⑥ 交通の安全性の確保については、基本的には駐車場は地下に確保し、店舗前には一時駐車可能なスペースを設けている。また、都市部では公共交通として、トラム(低床路面電車)や路線バスが普及している。さらに、オランダでは上下線とも車道と歩道の間には自転車専用レーンが設置されている。
- ⑦ 既成市街地に隣接する新市街地の整備にあたっては、既成市街地にはない多様な意匠の住宅や事務所等を許容しており、コンペ方式等により、民間事業者や建築家のアイデアを募っている。開発のコンセプトとして、水と緑、インフラストラクチャー、ビジネスと居住の環境を重視している。
- ⑧ 産業遺産についても、個々の跡地利用ではなく、地域の全体構想の下に、行政が一部関与して全体調整を行い、ネットワーク化を図っている。再利用後の機能としては、研究、業務、研修、イベント等と多岐にわたっており、単なる産業技術史の展示としてではなく、職業訓練等の雇用創出効果もあげている。

わが国は、欧州の諸都市とは社会的、歴史的な背景は大きく異なるが、それぞれの地域の歴史、風土に根ざした原風景を大切にし、今後も地域愛を育むまちづくりを進めていくにあたり、このような欧州から学ぶ点が多いと思われる。

## 《後 記》

研修を計画するに際して、単独での海外へ飛行や、訪問先でのヒヤリングなど様々な不安があった。また、アムステルダムからパリに移動した際にはスーツケースが届かず、翌日のリールへの公式訪問を控え、焦燥に駆られる思いもした。また、今回の研修は、欧州への往復とオランダ・フランス間を除き、すべて列車での移動を選択した。途中、6回も乗り継ぐケースもあった上、運行の中止や、列車の遅れ等、さまざまなトラブルにあい、途方にくれたこともあった。また、ホームを移動するにもエレベーターがなく、大きなスーツケースとバックを抱えて階段を駆け上がったこともあった。

しかしながら、現地の方々の親切な対応にそれらの問題もすべて解消され、最後まで無事に楽しく研修を終えることができ、今は懐かしい思い出で一杯である。

最後ではあるが、この連載では載せられなかった、オランダのキンデルデイクをご紹介します、この稿を終える。

### オランダ キンデルデイク



▲ キンデルデイクの風車配置図

「世界は神が創ったが、オランダは人間が造った」といわれように、オランダには「水」との戦いの歴史がある。風車や運河に象徴されるその景観は、海面下の大地を保全するために、一定の水を保つ揚・排水作業に欠かせない構成要素である。

新たな土地を獲得するために、「人工丘(テンプ)」の建設は紀元前から、「堤防(デイク)」の建設は13世紀初頭から行われていた。「干拓地(ポルダー)」の開拓がはじまったのは風車の活用で、揚・排水作業の効率化と自動化が可能となった。17世紀を迎えると、風車の能力を駆使して、大規模な干拓事業に成功する。その先駆けが、アムステルダム北方のベームスターポルダーにおいて、40基

の風車を用いて1612年に完成した。これを契機に、沿岸部では次々と干拓が行われていった。



▲ 揚・排水のため連続する風車群

干拓地の開発と維持に不可欠は揚・排水作業については、もはや風車はその役割を終えているが、ロッテルダムの南東約10kmにあるキンデルデイク郊外には、1740年頃に造られた19基の風車が立ち並ぶ壮観な風景が残っている。



▲ 風車の近景

この風車のうち一つが公開されており、木造で円錐形の石貼りの外壁となっている。風向きによって風車の向きを変えられる舵のようなものが取り付けられている。内部は生活できる設備があり、ベッドルームや台所などもある。また、風車の回転を歯車で向きを変え、水をくみ上げるポンプの働きをする仕組みを見ることができる。



▲ 風車内部



## 神戸開港150年記念イベント

神戸市では、開港150年を記念する多彩なイベントが1年を通じて行われます。

その概要を、神戸市みなと総局開港150年担当課長 加納 尚剛様にお話を伺いました。

そのレポートです。

### ●事業の概要

神戸は1868年1月1日（慶応3年12月7日）の開港以来、港とともに発展し、今年が開港150年を迎えます。

神戸港は、古くは奈良・平安の時代から交流拠点として賑わい、1868年の開港後は、諸外国との交流を重ねつつ、神戸文化を培ってきました。神戸港は、物流業、製造業、金融などのサービス業の発展をもたらしました。

50年前には、日本で初めてコンテナ物流を始め、世界有数の国際貿易港として発展してまいりました。阪神・淡路大震災による甚大の被害や世界経済情勢の変化により、神戸港の地位は、相対的に低下しましたが、この状況を打破するため、港運業界の皆様のご協力もいただきながら、国策として国際コンテナ戦略港湾施策を強力に推し進め、開港150年を目前に、震災前の水準までコンテナ取扱量が戻りつつあるところです。

神戸開港150年を迎えるこの記念すべき年に、みなとまち神戸に関わる市民や事業者の皆様と一緒に、神戸発の文化・産業の礎である神戸港にお越しいただく多彩な行事や、港勢拡大につながる事業を実施してまいりたいと考えております。

### ●神戸開港150年式典：5月19日

（神戸ポートピアホテル）

港湾功労者顕彰や神戸港の将来像を発表する記念式典、祝賀会を開催します。

### ●第47回神戸まつり：同18日～21日

（元町、三宮センター街、フラワーロード）

・サブタイトルを「150年の みなと神戸に逢いたくて」として、5月19日（金）

16:00～17:30に、神戸まつりの前身である「みなとのまつり」で人気を博した「懐古行列」を17年ぶりに再現します。

神戸ゆかりの歴史上の人物に扮した市民が、元町商店街から三宮センター街までを練り歩く。

・21日のメインフェスティバルでは、フラワーロードや旧居留地で、開港を記念した行事、市民参加型イベントが行われます。なかでも、11:00～11:30には、神戸開港150年を祝して、豪華ゲストによるパレードを行う。

### ●第14回海フェスタ神戸

海フェスタ神戸は、「海の日」を中心に、毎年港湾都市で開催されるイベントの総称。今年が開港150年を迎える神戸での開催が決まり、各地で多彩な催しが開かれます。

#### （1）帆船フェスティバル：7月15日～17日

史上初となる、海技教育機構の訓練船5隻（日本丸・海王丸・大成丸・銀河丸・青雲丸）が勢ぞろいの予定。ほかにもロシアや韓国など、海外の帆船も参加。帆を広げるセイルドリル（操帆訓練）に注目です



#### （2）第47回みなとこうべ海上花火大会：8月5日

海フェスタのフィナーレを飾るのは、夏の風物詩として神戸っ子に親しまれている、花火大会。今年は何年にもない文字花火や15,000発の打ち上げ花火で開港150年の夜空を彩ります。



●開港150年記念特別展「開国への潮流」：7月29日～9月18日（神戸市立博物館）

開国までの期間の、幕末の海岸防備、開港前夜の神戸港の様子分かる展示。

その他、須磨・平磯海づり公園での協賛釣り大会（7月30日、8月6日）や「港まつり in すみよし」（8月12・13日）など地域で多彩な催しが行われます。

是非イベントカレンダーをご覧ください。ご参画ください。（広報コーナーに掲載）

●メリケンパークのリニューアル

完成から30年を迎える神戸開港150年を契機に、さらに魅力あるウォータフロント空間として全面的にリニューアルし、4月5日にオープンしました。

リニューアルでは、海と空が感じられる開放的なオープン空間づくりに努め、憩える空間として芝生広場を拡張し、桜の並木を整備しました。また、たとえば、先端の床面にLED照明を埋め込み、星屑のような夜景を演出するなど、夜間景観を整備もしています。



リニューアルされたメリケンパーク

●事務局より

神戸港の礎については、1855年の網屋吉兵衛の「船たで場」（ドッグ）の建設に始まることは、会報第376号（平成29年2月）の事務局だよりで報告しました。その網屋吉兵衛の顕彰碑が第1突堤の入り口に設置されていました。その顕彰文を紹介します。そして1863年の勝海舟による海軍操練所の開設を経て1868年1月1日の開港を迎えることとなります。

加納課長様には、開港記念式典等の準備で大変お忙しいところを、記念事業のご教示、資料の提供いただきありがとうございました。記念事業の盛会をご祈念申し上げます。

新港第1突堤周辺地図



第1突堤にある網屋吉兵衛の顕彰碑

ドコモ神戸ビル前の海軍操練所跡碑

顕彰碑 網屋吉兵衛

碑文

天明5年（1785年）根津八部郡二ツ茶屋村（現生田区元町4丁目付近）に生まる。72才にして安永新田（現新港第1突堤付近）に船たで場（船底の貝殻や船虫などを焼く場所）の建造に着手。苦節3年大願成就す。

文久3年（1863年）時の將軍家茂公が小野浜に上陸の際「この地は港に最適でございます。」と進言す。後年この船たで場は勝海舟の幕府海軍操練所となって神戸港の夜明けを迎え今日の繁栄の基礎となる。

明治2年9月5日天寿85歳

市民の碑 多くの市民の浄財にて建立す



網屋吉兵衛顕彰碑



ドコモ神戸ビル前の海軍操練所跡碑  
この南300mに吉兵衛の顕彰碑がある。

## 見学レポート 兵庫県庁と兵庫津界限（その1）

このところ“兵庫津”が脚光を浴びています。

兵庫津と言われた現在の神戸市兵庫区の南部地域は、元々好立地の港湾施設を核に海運業の豪商を輩出し、政治経済の中心地として栄えてきました。今も大規模な製造工場群や神戸の台所・中央市場の立地等により、経済的な中心地となっています。ただ、港湾機能や市街地の中心が東へと移っていき、戦禍や人口減少もあり、まちとしての賑わいという面では薄れてきていました。

この兵庫の港は、明治以降の運河の開設により一層発展してきたもので、この運河を活かした町おこしの取組もされていました。（JR兵庫駅前の震災復興住宅は「キャナルタウン」とネーミングされている。）

そこに5年前、NHK大河ドラマ「平清盛」で歴史的な表舞台に立ち、史料館の設置もあり全国から観光客が訪れました。これを機に地元では兵庫津の賑わいの復活に向け、一層の取り組みが行われています。

そのような中で、この度は神戸開港150年と県政150年を迎えるということもあり、兵庫県及び神戸市の原点といえる“兵庫津”の歴史散策をしてきましたので、その様子を報告します。

●開港150年の神戸港とは、開港時は、古くからの大輪田泊・兵庫津の東（現在の税関付近）に位置し、別に報告しましたが1855年網屋吉兵衛の「船たで場」、1863年勝海舟の神戸軍艦操練所の開設が神戸港への礎となってきました。

一方、兵庫県庁は兵庫津の「大坂町奉行所兵庫勤番所」の建物を使い、1868年5月23日（旧暦）に開設されます。現在の神戸市兵庫区南部の切戸町には、「兵庫城跡・最初の兵庫県庁の地」の石碑があり、その案内板に記されているものと、「兵庫県公館」に掲示されている県庁歴史年表を合わせて表しますと次のような経緯となります。



### ●兵庫県制定の経緯

- 1580年（天正8年）  
池田信輝・輝政父子が花隈城攻略の功により織田信長から兵庫を与えられ**兵庫城**を築造。
- 1617年（元和3年）  
江戸になり尼崎藩領となり藩の陣屋へ
- 1769年（明和6年）  
幕府領となり、大坂町奉行所に所属し、勤番所となり明治まで続く
- 陽暦1868年（慶応3年）1月1日  
兵庫（神戸）開港
- 1868年（慶応3年）1月3日  
王政復古
- 1868年（慶応4年）1月22日  
兵庫鎮台設置
- 1868年（慶応4年）2月2日  
兵庫裁判所に改組
- 1868年（慶応4年）5月23日  
（新暦7月12日）  
兵庫裁判所を廃して「**兵庫県**」を設置
- 1868年9月8日 明治に開元
- 1868年（明治元年）9月  
県庁 坂本村（現神戸地方裁判所）に新築移転
- 1873年（明治6年）5月  
県庁 神戸山手に移転
- 1876年（明治9年）8月  
第3次兵庫県成立

第3次兵庫県により、飾磨、豊岡、丹波、名東県を併合し、現県域とほぼ同様の日本海から瀬戸内にまたがる人口134万5千人の大県が成立しました。

これは、兵庫県が神戸港を擁するため経済基盤の強化を図る必要があったこと及び明治3年の稲田騒動が大きく影響しているともあります。この稲田騒動・庚午事変と廃藩置県の関連は、平成27年8月会報第358号で見学研修レポート「旧益習館庭園」（稲田邸跡庭園）で掲載しました。

●「兵庫」の県名の由来について、「兵庫歴史博物館・ひょうご歴史ステーション」ひょうご史Q&Aより紹介します。

『確実な史料上での初見は、平安時代後期（1105年）古文書に「兵庫庄」との荘園名が記されている。現在の兵庫区、長田区、須磨区の平野部が中心的な領域。

兵庫荘近隣には「大輪田泊」があり、12世紀後半に平清盛が日宋貿易の拠点として整備を進めた。



鎌倉時代になり「兵庫津」と呼ばれるようになった。

兵庫津は中世から近世にかけても水運の拠点として繁栄を続けてきたが江戸時代の終わりには外国との貿易を行う開港場と指定され、改めて重要港湾となった。

開港場は実際には東隣の神戸村に造成され、兵庫津には明治政府による地方行政を行う役所が設置され、これが兵庫県へと発展していった。

当初、兵庫に役所が置かれた県であったことから兵庫県と呼ばれるようになったと考えられている。

「兵庫」の地名が生まれたのは、朝廷の兵器庫があったことからとの説がある。』

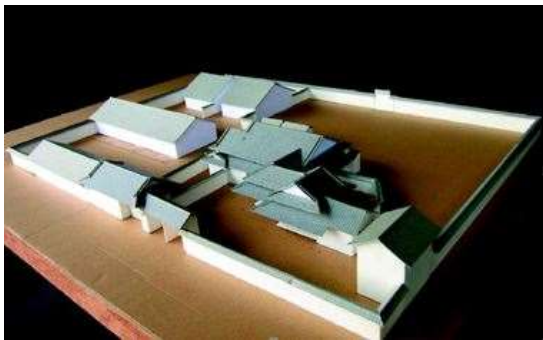
ひょうご史Q&A

(兵庫歴史博物館・ひょうご歴史ステーション)

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo/historystation/rekihaku-meet/q-and-a/index.html>

●この初代兵庫県庁舎は兵庫運河の開設時に取り壊されました。

この度の150年を機に初代県庁が復元されるとの報道があり、場所も石碑と運河を挟んだ対岸に建設中の「ショッピングモールに隣接」とされ、期待が膨らんでいます。



初代県庁舎復元模型

その復元模型の写真を兵庫県神戸県民センターで頂戴しましたが、これは、10年ほど前に作成されたものです。そして、今年度、県庁発祥の地である兵庫運河周辺での記念施設の整備に向けた検討が進められているようです。

実現できることを大いに期待しています。

今回は、兵庫津の歴史的遺産を活かしてまちの活力を高めようと活動中の「よみがえる兵庫津連絡協議会」が拠点とする「兵庫津歴史館 岡方倶楽部」を中心に報告したいと思います。

## 見学レポート ひょうご出会いサポートセンター

当会特別会員であった梅谷順子氏（前兵庫県理事）が、この度兵庫県青少年本部理事長に就任され、主要施策の「ひょうご出会いサポートセンター」（以下「センター」という。）への協力要請があり、センターの見学と事業のヒヤリングをしてきました。場所は神戸市中央区下山手通4丁目の兵庫



県民会館3階にあります。以下、その事業概要を報告します。

梅谷理事長と稲垣郁子センター長:センターにて

### ○「あいサポ会員」の募集

先日、“6年連続で人口減少”の報道がありましたが、その最大の要因である少子化は、「未婚化・晩婚化」の進行にもあることから、社会全体で結婚を応援するため、独身男女が交流できる“出会いの場”等のイベント情報を提供する役割をセンターが担っています。

イベントは、あいサポ応援団（ホテル、旅行会社等で構成）が開催しますが、このイベントに参加するためには会員登録が必要で、団体会員、個人会員があります。この登録料は無料です。

#### あいサポ会員（団体会員）

企業、団体などが“団体会員”として登録すると、センターから独身の男性、女性が交流できる“出会いの場”のイベント情報が届けられます。団体会員は、これを受けて団体内の独身社員にイベント情報を提供します。

会員数：170団体

#### あいサポ会員（個人会員）

所属する企業・団体等が会員となっていない場合は、個人で加入することができます。情報提供は団体会員と同様です。

会員数：11,081人（男性3,325人  
女性7,756人）

### ○はばタン会員

1対1のお見合いの機会の提供を受けることを希望する方は、「はばタン会員」の登録が必要となります。これには、登録手数料年間5千円（20歳代は3千円）が必要で、現在の会員数は約5千人です。

はばタン会員になると、県内10か所及び東京に設置されているセンターに出向き、そこで写真にあるようなタブレットにより登録会員を検索して、お見合い候補者を選び手続きを進めていくこととなります。



最初のお見合い場所は、神戸センターでは写真のとおりです。



### ○あいサポ会員登録のお願い

少子化の改善策の一つが婚姻となりますが、我々の職場環境は圧倒的な男性社会で、なかなか男女の巡り合いの機会がないのが実情と思います。

取敢えず団体会員登録をして、従業員への情報提供をされてはいかがでしょうか。

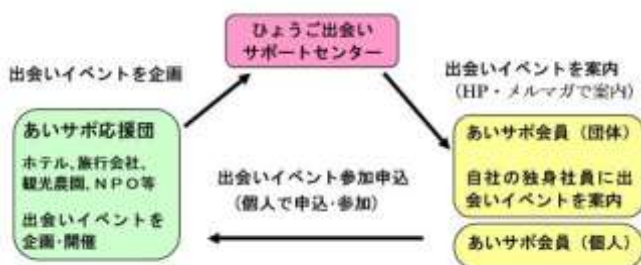
希望に応じ「はばタン会員」への登録もご案内ください。

ひょうご出会いサポートセンターの詳細確認及び会員登録手続きは次のURLとなります。

<https://www.msc-hyogo.jp/>

また、広報コーナーに梅谷理事長からの「ひょうご出会いサポートセンター」の案内を掲載していますので、是非ご一読ください。

出会いイベント事業の仕組みを図示すると次のとおりです。



### ○未婚の実態

「50歳未婚過去最高」というTV放送に愕然としました。生涯未婚率は男性で23.37%となり、4人に1人という割合になります。次をご覧になって是非このことをお考えください。

<https://matome.naver.jp/odai/2133889765626341001>

## お知らせ

### ◎ 特別会員の異動 (3月31日以降の届出分) (敬称略)

《神戸市》 4月12日付

住宅都市局住宅担当局長 三木 太志

《姫路市》 4月1日付

都市局まちづくり推進部長 藤原 善文 退職  
←三輪 徹 (都市局都市計画課長)

《西宮市》 4月1日付

土木局営繕部営繕課長 和田 政治→すまいづくり推進課長

←伊東日出志 (すまいづくり推進課長)

都市局都市総括室長 豆成 一郎 退会

都市局都市整備部開発指導課長

畑 文隆 退会

《宝塚市》 4月1日付

都市整備部長 井ノ上 彰 退会

← 増田 充巳 (建築住宅室長)

都市整備部建築住宅室長 増田 充巳 (部長へ)

← 福田 芳巳

### ◎ 行事案内

#### ○ 平成29年度総会及び交流会

日時 平成29年5月23日(火)

17時から19時30分

会場 神戸三宮東急REIホテル

議題 ①平成28年度決算について

②平成29年度予算について

③役員を選任他

ご出席をよろしくお願ひします。

#### ○ 平成29年6月(第457回)月例会

日時 平成29年6月15日(木)

12時から14時

会場 西村屋和味旬彩

テーマ①「平成29年度兵庫県の住宅・建築関係主要施策」

講師：兵庫県住宅建築局長

奥原 崇氏

テーマ②「オールドニュータウン問題への対応モデル事業明舞団地の取組」

講師：兵庫県住宅供給公社

住宅企画部明舞団地再生課

主査 神吉 竜一氏

ご案内中です。ご出席をよろしくお願ひします。



◎第154回研修交流会（建築会ゴルフコンペ）

日時 6月22日（木）集合8時30分  
会場 城山ゴルフ倶楽部  
スタート 9：03、9：10、9：17  
9：24  
会費 13,000円程度  
（プレーフィ、キャディフィ、昼食、  
参加料込み）

ご案内は5月初旬の予定です。日程等ご準備の  
ほどよろしくお願ひします。

○平成29年7月（第458回）月例会

日時 平成29年7月12日（水）  
12時から14時

会場 神戸三宮東急REIホテル  
テーマ 「食の安心安全等」（調整中）  
講師 保田 茂氏  
兵庫県農漁村社会研究所代表  
兵庫県食の安心安全と食育審議会会長

ご案内は5月中旬頃の予定です。

◎事務局だより

○寄稿連載の御礼

川端 宏幸氏による『歴史、文化、産業遺産を  
活かした欧州のまちづくり』が28年5月から実  
に1年に亘って連載をいただきましたが、本号を  
もって最終回となりました。

兵庫県では早くから景観形成条例を策定し、景  
観に配慮したまちづくりを行ってこられました。  
川端氏はその担当課長時代に、歴史的景観の保全  
や調和に配慮したまちづくりを行う欧州の先進  
都市を2週間余りかけ調査・研究行ってきた大変  
貴重なリポートでした。

まちづくりをテーマとした寄稿は、当会の創立  
70周年に相応しい内容で、厚く感謝申し上げま  
す。大変ボリュームあるリポートですが、これら  
は全てホームページの会報コーナーに掲載して  
いますので、いつでもご覧いただけます。またプ  
リントしての保存もできますので、資料にご活用  
ください。

《寄稿一覧》

- 第1回 平成28年 5月（第367号）  
ドイツ：リュベック  
第2回 同 7月（第369号）  
ドイツ：クヴェートリンブルグ  
第3回 同 8月（第370号）  
ドイツ：ゲンゼルキルヘン  
第4回 同 9月（第371号）  
ドイツ：エッセン

- 第5回 同 10月（第372号）  
フランス：オルセー美術館  
第6回 同 12月（第374号）  
オランダ：アムステルダム①  
第7回 平成29年 1月（第375号）  
オランダ：アムステルダム②  
第8回 同 2月（第376号）  
オランダ：アムステルダム③  
第9回 同 3月（第377号）  
オランダ：マーストリヒト  
第10回 同 4月（第378号）  
フランス：リール①  
第11回 同 5月（第379号）  
フランス：リール②  
オランダ：キンデルダイク

○花だより：播磨中央公園ばら園

須磨離宮公園のバラは既にご案内しましたが  
播磨中央公園のばら園も噴水を取り囲むように  
バラが咲き誇っています。バラに噴水のコンビネ  
ーションは華麗な雰囲気を一層際立たせてくれ  
ます。

子供が小さい頃は、中央公園の広大な敷地を探  
検しながらの散策に、神戸からでもよく通って  
いました。今は歳のせいもあり、バラ園だけたま  
に覗きにいく程度になってしまいました。それも暫  
くご無沙汰です。これは少し前の6月上旬の写真  
ですが、こうしていろいろ案内していると最新情  
報を求めに行くことも必要と痛感しています。

ばら園の詳細は下記のURLからご覧くださ  
い。

[http://www.hyogo-  
park.or.jp/harima/contents/zone/flower/flower0  
3.html](http://www.hyogo-park.or.jp/harima/contents/zone/flower/flower03.html)



事務局 : 谷 純夫、石井滝実子  
電話 : 078-996-2851  
FAX : 078-996-2852  
Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)

## ひょうご出会いサポートセンターをご活用ください！

兵庫県青少年本部理事長 梅谷 順子

兵庫県では、少子高齢化が進むなか、“どこよりも夢叶う兵庫”をめざし、未来を拓く地域創生に取り組んでいます。その一つとして、若者が希望に応じて結婚できるよう、企業や団体等の協力を得て、独身男女に出会いの場を提供しています。

県内 10 箇所と東京に設置した「出会いサポートセンター」では、「あいサポ会員」（登録無料）に対する独身男女が交流できる「出会いの場」などのイベント情報の提供や、「はばタン会員」（登録手数料年間5千円）に対する1対1のお見合いの機会の提供などを行っています。

「はばタン会員」は、20 歳以上の約5千人の会員（男性約 45%、女性約 55%）の中から気に入ったお相手を探し、お見合いや交際をスタートすることができます。お見合いは各地の出会いサポートセンターで行います。



平成 27 年 4 月には成婚カップルが 1000 組に到達しました。

平成 29 年 1 月には、「はばタン会員」にお見合いの機会を提供する「縁結びプロジェクト」のシステムをリニューアルしました。“ビッグデータを活用したおすすめ機能”により候補者選びのお手伝いをしたり、会員自身のパソコンやスマートフォンから来所予約やお見合いの回答、お相手のプロフィール確認などができるようになりました。また、新システム稼働に合わせて、20 歳代の方の「はばタン会員」の登録手数料を3千円に引き

き下げています。

県の出会い支援事業を通じて、今までに 1,301 組の成婚カップルが生まれました（平成 29 年 3 月末）。ぜひ「あいサポ会員」、「はばタン会員」に登録して、この制度をご活用ください。

＜お問い合わせ＞ひょうご出会いサポートセンター（兵庫県青少年本部内）  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 3 階  
TEL 078-891-7415 FAX 078-381-6829  
URL <https://www.msc-hyogo.jp/>



## 神戸開港150年記念イベント情報（2017年1月～7月）

### EVENT

みんなが集まりたくなるみなど。  
ヒト・モノ・コトをつなぐ多彩なイベントを実施。



日程	イベント名	場所	内容	
1月	1月25日～12月28日 神戸港と神戸文化の企画展 神戸 みなと 時空	デザイン・クリエイティブ センター神戸(KIITO)	「日本玩具博物館」「藤野正アジア美術館」「鈴木商店記念館」とのコラボ事業として、期間限定の企画展示会を開催。	
3月	1日～4月23日	神戸開港150年写真パネル展	神戸海洋博物館	幕末の神戸港から現在までの神戸港の様子や、開港100年祭ポスター、震災復興ニュース第1号などを展示。
	2日～6日	科学探査船「タラ号」の入港	中央埠・からめりあ	世界の海を航行し、気候変動と環境破壊が海洋にもたらす影響の研究や環境保護の啓蒙活動をしている「タラ号」が神戸港に初入港。
	5日	三宮コレクション	三宮センター街 1丁目	ファッションショーを開催。三宮コレクションの中で神戸開港150年をPRするコーナーも検討中。
	11日	第16回 葉の花まつり	灘浜緑地	灘区の歴史の花「葉の花」を西灘地区のシンボルとし、地域の運営による模擬店、ステージ等を通じて「助けあい」「支えあい」の精神を、地域の大事な財産として引き継いでいく。
	13日	外国クルーズ客船 「クイーン・エリザベス」入港	新港第4突堤	世界でも最も有名な客船の名を受け継ぐ外国客船「クイーン・エリザベス」が6時に入港。20時には初の日本発着クルーズのために出港する。入出港時には歌送進行事を実施。
	20日	外国クルーズ客船 「クイーン・エリザベス」帰港	新港第4突堤	「クイーン・エリザベス」が初の日本発着クルーズを終えて6時に入港。21時に上海に向けて出港する。
	3月中旬～6月上旬	神戸国際フルート音楽祭	神戸文化ホール、真入館・教会など神戸らしい施設、駅や街中など	神戸国際フルートコンクールの入賞者によるコンサート、神戸で活躍している演奏家によるコンサート、まちなかの賑わいになる市民参加型のワークショップなど100を超える事業を実施。
4月	1日・2日	LIGHT IT UP BLUE 春 ロハス・ミーツ	中央埠	スペシャルミュージックライブや100ブース以上の手作りのお店の出店のほか500個の書き扁額を空に飾ります。
	9日～5月14日	第4回 ベーバーモデルシップ展	神戸海洋博物館	船舶模型制作同好会「ザ・コンパス」の越の船舶模型作品展。
	25日～5月7日	桜井蘭彦画伯「港・船・港」の 水彩画作品展	神戸海洋博物館	日本美術家連盟所属の画家桜井蘭彦氏の描いた海・船・港の絵画作品展。
5月	3日～6日	第29回 KOBEメリケンフェスタ 2017	メリケンパーク	ウォーターフロント、メリケンパークをPRするゴールデンウィークの恒例イベント。神戸メイトフェア「神戸ワイン&ビフ祭」やシーサイドステージ、ヘリコプター遊覧飛行、リサイクルマーケット等を開催。
	6日・6日	ジャパンコーヒーフェスティバル イン 神戸2017	メリケンパーク	日本のコーヒー産地の地、神戸で様々なコーヒーの味覚を体験する祭り。
	14日	第39回 神戸港カッターレース	神戸港・メリケンパーク 東灘海城	カッター（船艇）によるレース大会。男子・女子・シニア及び神戸開港150年特別レースの4種目合わせて約100チームが参加する。
	19日	神戸開港150年記念 第47回神戸まつり復古行列	元町、三宮センター街、 フラワーロード	神戸まつりの前身である「みなとの祭」で実施していた「復古行列」を復活。
	19日	神戸開港150年記念式典	神戸ポートピアホテル	神戸開港150年を記念し今後の発展を祈念する式典を行う。神戸港の発展に功績のあった方を贈る功労者顕彰や神戸港の将来像の発表を行う。
	20日・21日	神戸開港150年音楽祭	メリケンパーク	20日はAKB48やK-POPを中心に若者向けの、21日は松平健や轟悠一郎、川中美幸など大人向けの音楽の祭典を行う。
	20日・21日	第15回 KOBEみなとマルシェ 神戸開港150年音楽祭と同時開催	メリケンパーク	神戸のグルメが楽しめる夏のイベント。
	20日・21日	神戸開港150年記念神戸まつり	神戸市内	20日に各区のまつり、21日にメインフェスティバルを開催。
	24日	第90回 日本港湾協会定時総会	神戸ポートピアホテル	神戸開港150年を記念して神戸港で第90回 日本港湾協会の総会を実施する。
	25日	みなとの博物館ネットワーク・ フォーラム総会	神戸海洋博物館	神戸開港150年を記念して平成29年度の総会を神戸港で開催する。
	6月	4日	海上保安庁訓練展示	神戸港沖合い
7月	4日～8月6日	神戸開港150年企画展 「大帆船展」(仮称)	神戸海洋博物館	様々な時代の歴史的な帆船模型や写真パネル、帆船ポスターやイラストのほか、実際に使用していた滑車や道具などを展示。
	10日・11日	六甲クイーンズオープン トーナメント	神戸六甲ボウル	ボーリング発祥の地、神戸の開港150年を記念し、女子プロボウラーとアマチュアで行うプロアマ混合トーナメントを開催する。



## 神戸開港150年記念イベント情報（2017年7月～12月）

日程	イベント名	場所	内容	
7月	15日～17日	帆船フェスティバル	神戸港	100m級の大型帆船を含む国内外の帆船を集め、帆船パレードやセイールドリル、船内一般公開、スタンプラリーなどのイベントを実施する。
	15日～8月6日	第14回 海フェスタ神戸	神戸港周辺	帆船フェスティバルや海の総合展、海事映画上映会、研究船の一般公開など神戸港を楽しめる日本最大の海の祭典を開催する。
	16日・17日	第16回 Kobe Love Port-みなとまつり	メリケンパーク	ステージイベントや各種飲食屋台の出店。
	17日	第33回 神戸港ポート天国	メリケンパーク、中央堤及び周辺海域	浴衣展示放水や官庁船艦パレード、官庁船艦の体験航海や船内公開など、普段は見ることが少ない官庁船艦等による各種イベントを開催する。
	中旬	第15回 瀬・夢ナリエ	瀬石遊談会館所	瀬の魅力名所である瀬西遊を会場とし、行灯展示、ステージ、盆踊りなど、瀬もが楽しめる区を代表する夏祭りを実施。
	22日	海上保安フェスタ	新港第1突堤	第五管区海上保安本部最大の定規模「セーっ」及び大型測量船「拓洋」の一般公開を行うとともに、巡視艇による体験航海等を開催。
	22日・23日	JAMSTECの研究船・気象庁の海洋観測船などの一般公開	新港第1突堤	JAMSTEC運送の研究船「しんかい6500」「まこすか」や気象庁の「巻風丸」の一般公開を開催。
	29日・30日	マリンカーニバル in マリンピア神戸 発見・体験・学びのボートレジャーを!!	三井アウトレットパーク マリンピア神戸	ボート・水上オートバイの展示やミニボート体験試乗、フィッシングトーナメントなどマリン情報いっぱいカーニバルを開催。
	29日・30日	第3回 神戸湾ラテンアメリカンカーニバル	高浜岸壁	神戸と赤坂に結びつきの強い「海」と「ラテンアメリカ」をテーマとした祭典。サンバをはじめとした中南米のダンス・音楽のステージ及びグルメブースを展開する。
	29日～9月18日	開港150年記念特別展「開国への潮流」	神戸市立博物館	開国までの期間の、幕末の海洋防備、開港前夜の神戸港の様子がかかる展示。
	30日	神戸開港150年・海フェスタ神戸 協賛釣り大会 in 扇形海づり公園	扇形海づり公園	当日来場者全員が参加できる釣り大会を開催。豪華景品あり。
8月	5日	第47回 みなとこうべ海上花火大会	神戸港一円	みなと神戸の夜空を彩る夏の風物詩として、多くの市民に親しまれている。平成29年度は、例年にはない文字花火の導入や1万5千発の打上げ(尺玉150発含む)など、開港150年を記念した充実の内容で実施。
	6日	神戸開港150年・海フェスタ神戸 協賛釣り大会 in 平磯海づり公園	平磯海づり公園	当日来場者全員が参加できる釣り大会を開催。豪華景品あり。
	12日・13日	神戸開港150年記念「遊まつりinすみよし」食べて、歌って、踊りまじよう	住吉公園	神戸開港150年を盛り上げるため、住吉地域中かりの食のブースの展開。有名アーティストのライブや大盆踊りを実施。
	15日～9月3日	神戸港 成田一徹 切り絵展	神戸海洋博物館	切り絵作家 成田一徹氏の作品の中から、神戸港に因んだ作品を展示。
	19日	こうべ海の盆踊り	メリケンパーク	関西最大級! 民謡の生唄・生演奏に合わせて巨大やぐらの周りを大人から子供まで一緒に大きな円になって踊り、バラエティ豊かな屋台も勢ぞらにする。
9月	17日・18日	秋「食」のイベント	メリケンパーク	神戸開港とともに広まった神戸の食にスポットをあて、神戸の食文化を発信するイベントを実施する。ステージイベントや市民参加型のイベントも取り入れる。
	23日・24日	KOBE ALIVE 2017 神戸新舞VOL.10	メリケンパークほか	全国のよさこいソーランのチームが競演。
	9日(予定)	AUTO MEETS KOBE 2017(仮称) 3R-ボラン CARS MEET 2017 KOBE合同開催	高浜岸壁、メリケンパーク、中央堤、市民広場	フェラーリやクワッドカーを神戸に集結させ、各種イベントも取り入れ神戸開港150年を盛り上げる。また、国内外自動車メーカーの最新モデル展示や体験試乗会なども開催。
	16日～10月15日	港都KOBE芸術祭	神戸港内、港運開港施設など	港を代表する突堤や埠頭、ドック岸等のほか、港運施設にアート作品を展示し、船上から鑑賞する「海上アート展」をメインの事業として展開。
	28日～10月12日	第28回 マリナーズ・アイ展	かもめりあ	船員が撮影した船乗りならではの写真展。
10月	5日～10日	第35回神戸帆船模型の会作品展	神戸海洋博物館	様々な木製帆船模型の作品発表会。
	22日	第16回 KOBE みなとマルシェ	中央堤・かもめりあ前	神戸のグルメが集結した食のイベントを開催。
	17日～11月26日	海上保安庁展2017	神戸海洋博物館	海上保安庁の仕事に焦点をあてて紹介する企画展。
	18日	第33回神戸湾フォークリフト競技技能向上大会	メリケンパーク	神戸湾で働くフォークリフトオペレーター約30名が参加し、フォークリフトの基本操作、運転技術を競う。